



第 115 号

編集 P T A 係
発行 長野県下伊那
農業高校PTA

PTA活動について

PTA会長 伊藤 和宏

夏空が眩しく感じられる頃となり生徒の皆さんは連日暑い中、授業・実習・そして班活動に頑張っている事と思います。

あらためまして、今年度会長を務めさせていただきました伊藤です。この大任を重く受け止め、一年間精一杯務める所存でございますので宜しくお願い致します。また、保護者の皆さんにおかれましては日頃よりPTA活動にご支援ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成二十九年年度PTA総会が五月二十七日に開催され新体制での活動がスタートしました。総会前の教育懇談会では上田ビジネス専門学校の比田井先生をお迎えし、「幸せな人生を歩むために大切なこと」との演題でご講演いただきコミュニケーション能力の大切さを教えていただきました。今、生徒達を取り巻く社会は携帯電話・パソコン等のIT機器の発達、普及

ご挨拶

校長 嶋崎 文男



保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年度は始まって早々に、ラグビー班が七人制の県大会で優勝し、全国大会への出場権を手に入れました。現在はラグビー班だけでなく

く、運動系・文化系にかかわらず多くのクラブ（班）が頑張っています。また、自分を成長させるために、校外の行事や活動に積極的に参加する生徒も出てきており頼もしく感じています。これから一人ひとりが意欲的に学校生活を送りそれぞれの可能性を伸ばし、将来の進路に繋げてくれることを願っています。さて、禅の言葉に「啐啄同時（そったくどうじ）」というのがあります。よく耳にす

る言葉です。ご存じの方も多いと思いますが、その意味はこういうことだそう。多くの野鳥にとって、五月は子育ての時期です。雛鳥がふ化しようとする時、卵の中の雛鳥が内側から殻をコツコツとつつきます。しかし、雛鳥の力では殻を破ることができないので、それに合わせて、親鳥が外からつついて殻を破り、ふ化を助けるのです。雛鳥が内側から殻をつつくことを「啐」、親鳥が殻の外からつつくことを「啄」と言うのだそうです。この「啐」と「啄」のタイミングが大事で、タイミングが合っていれば雛鳥は

無事生まれ、「啄」が遅れたり、早過ぎたりすると外へ出ることはできないのだそうです。「啐啄」は、早くても遅くてもいけない、真に同時に行わなくてはならないものなのです。子育てもこの「啐啄同時」に繋がるところがあると思います。つまりタイミングが大事だということです。クラブ活動や勉強において、子どもが自分で考え、主体的にやるうとしていく時に、待ちきれずに先回りして、つい口を出してしまう。そういう経験はないでしょうか。そうしたことが続くと、子どもは主体性

を失くし、指示待ちの人間になってしまうと言われます。悪いことをした時に、機を逃さず指導することはもちろん大切です。しかし、時と場合によっては、子どもの人格を尊重して、少し離れたところから見守ることも必要ではないでしょうか。子どもは一人ひとり違います。その子どもの成長に合わせて、必要な時に的確な指導や助言ができるようになりたいものです。保護者の皆様には引き続き本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶

により、人間関係が希薄になっていくように感じます。しかしながら、一歩社会へ出ますと会社等での人間関係を避けて通る事はできません。また、人として生きる幸福もこの人間関係によって実感するといっても過言ではないと思います。高校生活の三年間

に先生方や地域の方々、そして私たち保護者が共に協力し、生徒達にその大切さを少しでも伝える事ができればと思います。「知行合一」知るは行うことの始め、行は知ることの成果。知識と実践はお互いに合致しないといけないという意味の言葉ですが、まさに下伊那農業高校での勉学はそれだと思っています。ここで学ぶ生徒達は作物の成長や家畜と触

れ合い、先生方から多くの知識を分け与えていただき、大きく巣立っていく事と信じております。最後にりましたが教育広報部の皆様にご尽力頂き、八月二十六日に視察研修旅行を計画しております。今年度は名古屋・知多方面への旅行です。この機会を先生方、PTA会員相互の親睦や情報交換の場にして頂ければと思います。是非大勢のご参加をお待ちしております。これから夏休み・稲丘祭と生徒達はイベントを控えておりますが、先生方と連携して楽しく安心な学校生活が送れますよう、会員の皆様の益々のご協力を宜しくお願い致します。

PTA研修旅行のご案内

本年度PTA研修旅行を下記のように計画いたしました。ご多忙中とは存じますが、会員相互の親睦を深めPTA活動を盛り上げていただきたく、学級・クラブ保護者会・地区等でお誘い合せて、大勢ご参加いただけますようお願い申し上げます。

今年、豊浜さかなひろばにて海の幸、かめふくめんたいパークにてめんたいづくしを楽しんでいただきます。

○期日

平成二十九年八月二十六日(出)

○参加費用

七、〇〇〇円（一人あたり）

◇担任を通じてお申し込み下さい。まだ間に合います。

行程表

学校 = 飯田IC = 春日井IC = アサヒビール・名古屋工場 = 7:20 9:20~11:00 (工場見学・試飲)
※入浴可能
= 勝川IC = 豊丘IC = 南知多・師崎 = 豊浜さかなひろば = 12:15~14:00 (昼食・懇親会) 14:00~14:50
= 豊丘IC = りんくうIC = 備かめふく めんたいパーク = 15:30~16:10
= りんくうIC = 刈谷ハイウェイオアシス = 飯田IC = 学校 16:50~17:10 (刈谷PA) 19:00頃

会務報告

事務局長 龍口 英男

平成二十九年度当初の活動
同部会、七月六日・七日に地
区懇談会が行われ、計画どお
り事業を進めています。

四月二十一日に第一回代議
員会が開催されました。二十
八年度事業・決算・監査報告
に続き、今年度の役員選出・
事業計画・予算案が承認され
今年度の事業がスタートしま
した。役員交代に際して一年
間PTA活動にご尽力いただ
いた宮内博久会長、細井澄子
副会長に感謝状が贈られまし
た。

一学期には、五月二十七日
にPTA総会、六月九日に合

PTA総会を終えて

PTA副会長 前島 はるえ

五月二十七日、平成二十九
年度PTA総会が開催されまし
た。御多忙の中、会員の皆
様に出席頂きました。

今年度の場合、午前中に生
徒と一緒に教育懇談会が行わ
れました。今年はCM・ラ
ジオなどでも活躍されている
上田情報ビジネス専門学校副
校長の比田井和孝先生による

「幸せな人生を歩むために大
切な事」の講演をして頂きま
した。話を聞いていて、個人
の性格などは、考え方で変
わっていくけれど、それには
時間も掛かる事、物事の考え
方をプラス思考でいけば、い

PTA教育懇談会を終えて

教育広報部長 片岡 俊治

今年の教育懇談会は、午前
中学生と共に講演を視聴する
形で行われました。講師に上
田情報ビジネス専門学校副校
長の比田井和孝先生を迎え
「幸せな人生を歩むために大
切なこと」と題して行われま
した。

たった一度の人生を大切に
送るヒントがそこにあるよう
です。講演開始直後から、生
徒の落ち着きのなきを気にな
され、先生と生徒とちよっと
した話があり、このままだ
うなるのかと思う場面もあり
た。

そして、お昼を挟み午後
にPTA総会が行われました。

平成二十八年度事業及び決
算報告・監査報告、平成二十
九年度事業計画及び予算案が
承認され、本年度のPTA活
動がスタートしました。

会員の皆様のご協力のもと
スムーズに議事進行が行われ
ました事、改めて御礼申し上
げます。

最後になりましたが、今年
度副会長をさせて頂く事にな
り、至らない点など多々ある
かと思いますが、役員一同協
力し合いながら頑張ってい
たいと思いますので皆様のご
協力の程宜しくお願い申し上
げます。

PTA 会報版

しものうのおと

2017年(平成29年) 5月10日 水曜日 4面

下農 競り負け準V

13日から県大会



得点を奪い、塁上へ伊藤(対東海大会時)

南信州新聞社様の計略を得て掲載

柔道班女子 北信越大会出場



けだけの仕事なのか、世の中
の人に役立つ仕事なのか、仕
事に対する熱意が、お客様の
必要とされるものになってい
く気の持ち方で毎日の仕事の
質が変わり、一八〇度人生も
変わるようです。

講演後半、生徒をスクリー
ンがよく見える所に移動さ
せ、スクリーンに流れる言葉、
親と子のストーリーに涙ぐむ
人もいたのではないでしょ
うか。

会場のムードづくり、話を
聴く姿勢が前の方で生徒を見
ていましたが、前半と後半で
は、やはり何かが変わってい
る様です。比田井先生のこの
講演に対する熱意、気持ち



後悔しない進路選択

進路指導部長 何 原 津壽子

昨年度の本校卒業生は一五七名(男子七十六名女子八十一名)。このうち就職者は六十八名で、今年度も就職希望者全員が年度内に内定し就職先を決めることができました。

進学については、本校の進学希望者の九割以上がいわゆる推薦入試を希望し、希望したほぼ全員が合格していきま

す。そのため、ともすると希望する学校というよりも自分の進学できる学校の中で選択してしまいがちです。もう少しじっくりと将来を見据えて上級学校(特に国立大学)へもチャレンジしてほしいと思います。本校職員も全力で手助けしていきます。自分に甘えることなく将来に必要な力をしっかり身につけられる

一員となる心構えと覚悟が必要で

進学先を選んではいけないと思います。また、一部の聞きかじった情報だけに流されることがなく、必ず複数の学校見学を行い、比較対照し、合わせて進学にかかる費用についても十分に研究してください。年間の学費は八十万〜一六〇万円で、自宅外で部屋を借りた場合の生活費が一月十数万平均として一年で百二十万円とする

と、二年間で五百万円が必要で、学校によっては独自の奨学金制度や特待生制度をもっているところもありま

第4回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会
長野県予選【優勝】

大会後の集合写真



表彰式の様子

長野県学校農業クラブ連盟第68回県大会



受賞者

平成29年度
第68回

予防的な対応で

生徒指導部長 大澤 厚 啓

お陰様で今年度に入って命や進退に関わるような重大事案は起きていません。四八〇名の子

ども達が落ち着いてスタートを切れたと感じています。これも皆様の本校教育活動に対するご理解とご協力の賜と感謝申し上げます。

さて、生徒指導部では昨年に引き続き五つの重点目標(地区懇談会配布資料参照)を揚げスタートしました。また、PTA生活指導部では「生徒が地域の

人に見守られながら、健やかに成長できる環境づくりに努める。」を目標に、情報の共有を呼びかけています。皆様に見守られながら、多くの子ども達が学習や班活動、進路に対し真剣に考え取り組むことにより、ここまで大過なく学校生活を送っていると思います。

4月からの事案ですが、年度当初は不審者による被害が頻発しました。いずれも生徒に落ち度(スカート丈が短いなど)があった分けではなく、不審者からの一方的な被害でした。盗撮

や身体を触られるなどの直接的な被害ではなかったため、警察への情報提供を行い新たな被害者を出さない対応をとりました。不審者が特定できたものもありますが、全てが解決には至っていません。登下校では複数での行動や人通りの多い道を

選択、防犯ブザーの携帯も自己防衛の一つです。

幸い大事には至りませんでした。自転車の自損事故もありました。警視庁からは十六歳の事故が圧倒的に多いという報告

があります。高校へ進学し、行動範囲が広がることで危険度は当然増加します。規則正しい生活の中で時間に余裕を持った行

動が、事故を防ぐ手段の一つです。スピードの出し過ぎなど交通ルールについて今一度ご確認ください。

生徒指導の各種会議や研修の中で必ず話題になるのがIT関連の問題です。特にSNSによるトラブルは我々の認識を超え、手の届かないところまで

展開しています。携帯電話で遅くまでメール交換を行い、翌日の授業に影響したのがつい最近のようですが、今ではLINEにより複数の人と同時に言葉

を交換し、授業への影響に留まらず「いじめ」の問題に発展しています。心が通いづらい文字だけのやりとりは多くの誤解を生み、コミュニケーション能力の低下にも繋がっています。登校

した時は友達達の表情を見ながら会話を交わし、思いやりを持った行動に心掛けて欲しいものです。ブログやツイッターによる問題もTVの中だけの話ではなく、身近に起きている重要な問題です。「自分や家族、友達を

マモル(マニマナー、モモラル、ルール)のために!」学校と共に家庭でも多くの情報に耳を傾けていただき、子ども達がトラブルに巻き込まれないようご指導をお願いします。

小さな変化を見逃さず、学校と家庭の連絡を密に行い、情報を共有することで、全ての生徒が安心で安全な学校生活を送り、進路の実現を叶えていきま

しょう。

会員の声

おやこ

三学年委員長 大平 誠

私の娘が下伊那農業高校に入學して、早くも二年半が過ぎようとしています。

私の母校でもあり、これから我が娘の母校になる高校で、生徒として、親として過ごした時間は、とても有意義で良い時間だったと思います。子供の成長を見守って来た時は過ぎて、親である事に変わりはありません。子供が生まれて私も親になって、父一年生から始め大いに楽しんで、大いに悩んで、お互いちょっとずつ成長し、もうすぐ巣立つ生意気になった娘を

見ながら、自分も高校時代は随分親に心配をかけたかも知なんて思ったりもしています。

農は、

二学年委員長 林 和志男

PTA活動は、そんな親子、そして先生、学校を結ぶ良い会だと思っています。子供と先生の話をする時、先生が親と近い存在であれば一緒に笑ったり怒ったり、でも自分が学生だった時代とは違う親と先生の関係の中で、色々と話し合ったり一杯飲んで楽しい時間を過ごしたりして、良い経験と勉強をさせて頂きました。

私は昭和六十年代に本校を卒業させて頂き、私の父母も卒業生というなか娘に下農へ行きたいと言われ、学校の様子を聞いてびっくり、私が在籍していた頃の一年生六クラス、プラス定時制だったものが、今は四クラスにそして学科名も新しくなり学習内容も高度で濃いものになったと知り、若干の不安と先輩として嬉しさを感じた事を思い出します。

悩み多く楽しかったおやこ時代も子供の巣立ちと共に思い出に変わっていきます。でも、もう少しの間、思いっきり親父風を吹かせて、親子共々楽しい高校生活が出来た

らと思っています。.....

クラブ活動報告

【南信高校総合体育大会成績

〈県大会出場分〉

◇野球班 準優勝

◇剣道班

女子団体戦 準優勝

女子個人戦 優勝 朝山殊夢

3位 前島夏菜

5位 片桐杏奈

6位 古根遙佳

◇柔道班

女子団体戦 優勝

女子個人戦 優勝 北沢実智溜

優勝 宮下柚耶

準優勝 宮島彩歌

準優勝 塩澤千奈美

◇長野県総合体育大会

女子団体戦 3位

女子階級別 3位 宮下柚耶

◇卓球班

男子団体戦 3位

男子ダブルス 3位 福田大輔

男子シングルス 5位 木下智貴

◇陸上班

女子やり投げ 5位 小池雅絵

女子三段跳び 6位 今村月愛

7位 山口穂菜美

8位 倉澤まのあ

◇農業クラブ

女子走高跳び 8位 井口 恵

◇山岳班

1位 Bチーム

2位 Cチーム

◇ラグビー班

◇全国高校7人制ラグビー大会

男子2000m個人メドレー

優勝

◇水泳同好会

男子2000m平泳ぎ

3位 久保田輝

4位 堤 海斗

3位 上田慶次郎

◇インターアクトクラブ

長野県国際教育研究協議会主催

第37回英語弁論大会

最優秀賞 井坪学斗

最優秀賞 森口沙弥

最優秀賞 小林美菜

最優秀賞 小林美菜

最優秀賞 小林美菜

最優秀賞 小林美菜

意見発表会Ⅰ類

最優秀賞 加古太久摩

意見発表会Ⅱ類

優秀賞 熊谷 萌

意見発表会Ⅲ類

最優秀賞 林ひなの

プロジェクト発表会Ⅰ類

最優秀賞 果樹班

プロジェクト発表会Ⅱ類

優秀賞 食品科学班

プロジェクト発表会Ⅲ類

優秀賞

アグリ研究班畜産部

クラブ活動発表会

最優秀賞

下伊那農業高等学校

農業クラブ

農業クラブ

親としてできること

一学年委員長 知久隆文

下農を卒業して四半世紀以上の時が流れ、またこの学び舎に自分が立っていることには、なんとも不思議な気持ちになります。自分の在校当時と比べれば、校舎の構造など多少の変化はありますが、今は女子生徒も多く活気に溢れ、自分が通っていた頃とは違い一人一人が目標を持ちながら高校生活を楽しんでいるように感じます。

この度、縁あってPTA役員としてまた下農にお世話になることになりました。自分自身、農業を生業としているわけですが、その環境は日々刻々と変わり、新しい形の農

業スタイルが生まれてきています。農業高校を取り巻く環境も以前とは違い、その変わりゆくスタイルに沿った学習内容に変化してきていることを、子供の教科書や先生方とお話をさせて頂く中で実感しました。子供達に対して自分になにができるわけでもないですが、少しでも協力できることはしていきたいと思っています。

これから三年間お世話になるわけですが、多くの保護者の皆さんや先生方と対話できるよう努力し、それぞれの力をお借りしながら子供達の高校生活を応援していこうと思っていますので、ご協力よろしくお願いします。

職員の異動

＊平成28年度末

○退職

西澤 正尹(国語)

塩澤 弘子(家庭)

大澤 勲(農業)

小木曾貴幸(農業)

○転出

田畑 邦仁(教頭 高校教育課)

工藤 恭子(国語 箕輪進修高校)

渡邊 文(社会 阿智高校)

金井 悠二(理科 高遠高校)

吉村 洋一(保体 阿南少年自然の家)

名子 はるか(家庭 松川高校)

北原 邦俊(農業 下高井農林高校)

菊原 文典(農業 佐平総合技術高校)

大杉理恵子(事務 阿智高校)

遠山 恵美(司書 阿智高校)

＊平成29年度

○転入

羽山 功(教頭 更級農業高校)

飯塚 聖(国語 木曽青峰高校)

木内 皓平(社会 新)

奥田恵理子(社会 飯田高校)

中村 光希(保体 伊那北・伊那弥生ヶ丘・辰野高校)

棚田 美穂(家庭 松川高校)

大池 明美(農業 新)

北原 洋明(農業 下高井農林高校)

片桐 広章(農業 上伊那農業高校)

伊藤 和俊(農業 佐平総合技術高校)

青木 有紀(農業 新)

成子(事務 飯田風越高校)

高坂 弥恵(事務 阿智高校)